

「就労支援部会」平成28年度後期活動報告について

1 報告事項

(1) 第18回就労支援部会（平成28年12月19日開催）

ア 障害者雇用セミナーについて

セミナー後の参加企業に対するフォローアップを各支援機関から報告し、各企業の障害者雇用への見込みを確認した。また、来年度のセミナーのテーマの検討やセミナー後に就労支援事業所見学ツアーを開催することを提案した。

(ア) セミナーで障害者雇用のイメージが付き、ハローワークや障害者就業・生活支援センターと連絡を取っている企業もあった。

(イ) 事業所見学を依頼するのはハードルが高いと考えている企業が多いため、事業所に行けるような見学ツアーがあれば参加しやすく、企業側の理解促進につながる。

イ 就労支援と相談支援の連携体制の構築について

今年度、第1回目を開催する連絡会の実施方法や期待される連携について検討した。

(ア) 第1回目は就労継続支援A型事業所を含めた各事業所がどのような活動を行っているのか、お互いを知る機会とする。

(イ) 生活面の崩れから仕事に行けなくなってしまう人も多いため、地域で様々な機関が集まり、顔の見える関係ができることで、1人に対して他の機関でも支援できるような地域のつながりをつくることを目指す。

(2) 第1回就労支援連絡会（平成29年2月3日開催）

ア 事業所紹介

障害者就業・生活支援センターやハローワークを始めとした11事業所がそれぞれ活動内容を紹介した。

イ 意見交換

2グループに別れて意見交換を行い、それぞれの現状や思いを伝え合ったり、気になっていることを質問した。

2 平成28年度の目標に対する総括及び今後の検討課題

(1) 障害者雇用セミナーの開催について

平成30年度から法定雇用率の算定に加わる、精神障害者の雇用に関する内容のセミナーを開催することができた。全体的な構成内容や広報手段などを工夫したために昨年度より参加者数が増加した。また、支援機関とつながりを持つことの重要性を伝えていき、セミナー後の企業へのフォローアップも行ったことから、より多くの企業と支援機関につながりができることが見込める。今後は、企業が興味を持つテーマの選定とセミナーをきっかけとした関係作りが続いていく方法を検討していく。

(2) 就労支援と相談支援の連携体制の構築について

就労支援と相談支援の事業所が集まった就労支援連絡会の開催を通じて、お互いの顔を知ることができ、また、意見交換を行うことができた。しかし、就労継続支援B型事業所を含めた就労支援機関全体の情報共有がまだできていないため、今後は開催方法や内容を見直し、刈谷市内全体の就労支援体制を整備していく必要がある。